

主力製品『ASTERIA Warp』が国内企業データ連携ソフト市場で 16年連続市場シェア No.1 を達成！

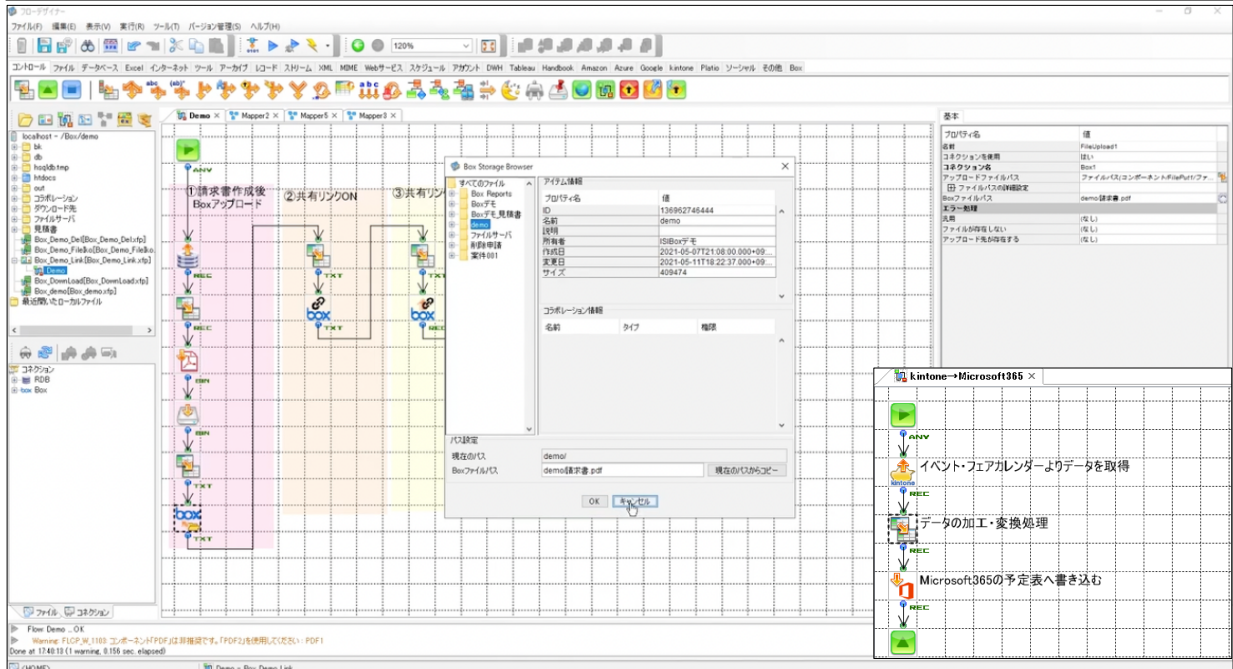
アステリア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下、アステリア）は、民間調査会社の株式会社テクノ・システム・リサーチ（本社：東京都千代田区、代表取締役：藤田正雄、以下、テクノ・システム・リサーチ）の調査の結果、2021年における国内 EAI/ESB※ソフト市場で当社主力製品『ASTERIA Warp（アステリア ワープ）』が **16年連続シェア No.1（出荷数量ベース）** を達成したことを発表します。

■ テクノ・システム・リサーチによる調査概要

テクノ・システム・リサーチの「2022年 ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」によると、2021年の EAI/ESB 製品市場規模は約 148 億円で、数量ベースでは 2,704 サイトに対して出荷されました。こうした中、ASTERIA Warp の出荷数量は 1,300 サイトとなり、市場シェア 48.1%（出荷数量ベース）を記録、**16年連続で市場シェア No.1 を達成しました。**この市場シェアは 2位の製品が有するシェアの約 1.7 倍と同分野の製品の中で引き続き圧倒的な支持をいただいていることの裏付けとなりました。



独自のフローデザイナーによるノーコードの開発環境を提供 各種クラウドサービスや、電子帳簿保存法の改正に対応する Box 等とも連携



<参考データ：EAI/ESB 市場規模推移/見通し>

単位：数量（サイト数）

項目	2021年 [実績]	2022年 [見込]	2023年 [予想]	2024年 [予想]
数量 (前年比)	2,704 (103.4%)	2,867 (106.0%)	2,956 (103.1%)	3,123 (105.6%)

(出典：テクノ・システム・リサーチ「2022年 ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」)

<テクノ・システム・リサーチによる市場展望>

EAI/ESB 市場は、2021 年で金額ベースは 169 億 9,000 万円となっており、前年比 103.4%と伸長している。内訳としては、ソフトウェアライセンス売上が 147 億 9,000 万円（前年比 97.5%）、SaaS 売上が 22 億円（前年比 137.5%）となっている。ユーザー企業のパブリッククラウドや SaaS 利用が進んでおり、クラウド間連携のために SaaS を利用するユーザーが増加している。クラウド間連携を求めるユーザーは SaaS を利用する傾向にありクラウドとオンプレミス環境を連携するユーザーはソフトウェアライセンスやサブスクリプションを利用する傾向にある。今後は、ユーザーのクラウドシフトが加速していく見通しから、EAI/ESB 市場においても SaaS の利用が進んで行く予測となっている。しかし、新規システムはクラウド上での開発が中心となるが、オンプレミスの既存システムが無くなる訳ではない。むしろ、オンプレミスとクラウドを連携させるニーズは増加していくことが考えられ、ニーズによってソフトウェアと SaaS が使い分けられていく。

【ASTERIA Warp の市場シェアに関する解説】

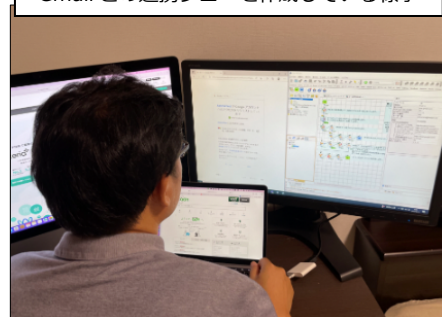
2021 年、数量ベースの市場シェアは ASTERIA Warp が 48.1%でトップシェアとなっている。ASTERIA Warp はユーザー企業における DX 推進の流れが追い風となっており、シェアを拡大している。サブスクリプション提供である Core の販売が好調に推移しており、シェア拡大の原動力となっている。

■ 今後の Warp ビジネスの展開

アステリアの Warp はビジネスを順調に拡大し、現在の導入社数は 9,800 社を突破するなど、企業データ連携市場（EAI/ESB）では 16 年連続シェア No.1 を継続しています。また、幅広い業界での DX 推進や改正電子帳簿保存法の施行に伴う連携ニーズに加え、インボイス制度対応におけるニーズも見込まれるなど、新たな引き合いも拡大しています。

今後も、Warp の多様なデータソースとの連携機能を様々な業界に拡販するとともにノーコードの特徴を生かし、IT 人材不足解消など社会課題解決に向けたデータ活用を支援し、業務の効率化・自動化等の推進に貢献してまいります。

Gmail との連携フローを作成している様子



※：企業データ連携=Enterprise Application Integration / Enterprise Service Bus の略

■ 『アステリア株式会社』について（Web サイト <https://www.asteria.com/>）

1998 年に創業し、2002 年に最初のノーコード製品の提供を開始したアステリア株式会社（当時インフォテリア株式会社）は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の ASTERIA Warp は、異なるコンピューターシステムのデータをノーコードで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 9,809 社（2022 年 9 月末現在）の企業に導入されています。また、Handbook は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,670 件（2022 年 9 月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

■ 『ASTERIA Warp』について（Web サイト <https://www.asteria.com/jp/warp/>）

EAI/ESB 製品の国内市場において 16 年連続シェア No.1 製品である「ASTERIA Warp」は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノーコードで連携できるミドルウェアです。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価されています。Warp Core は、Warp の厳選された機能を初期費用 0 円、月額 30,000 円からのサブスクリプション形式で「手軽」にご利用いただけます。様々なシステムやサービスと迅速に連携することで業務自動化やデータ活用を実現します。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社 広報・IR 部：長沼史宏・齋藤ひとみ

TEL：03-5718-1297 / 携帯：080-7709-5212（齋藤） / E-mail：press@asteria.com

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社 マーケティング本部：東出 武也

TEL：03-5718-1250 / E-mail：pm@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbook はアステリア株式会社の登録商標です。

その他記載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴ等は各社の商標または登録商標です。